



俺 0 0 0 0 4



book-fukunokami

## 寿司

---

「俺も寿司を食うんだ」

俺は叫んだ。

「回転しながら回転寿司を食うんだ」

さらに叫んだ。

「おう回転しながら回転寿司を食おう」

道行く人々が賛同した。

俺達は回転寿司屋に行った。

俺達は回転しようとした、

「違います、お客様が回転するのではありません」

美人の店員さんが怒った。

「冗談ですよ冗談」

俺達の回転プロジェクトは失敗に終わった。

悔しいので一回回ってみた。

「お客さん回らないでください」

美人の店員さんが怒った」

「ごめんね、もう回らないから許してね」

そして俺達はマグロを食おうとした。

1番前のやつがマグロを取って食った。

そしてマグロは1時間出てこなかった。

「お客さん、マグロが欲しいなら注文してください」

「ありがとね。

俺は美人の店員さんに惚れたのであった。